

2010年6月

## 1.新聞・テレビ等

(食品部)

- 松田りえ子  
**アジサイ**  
朝日小学生新聞 6月17日  
2008年につくば市および大阪市で発生したアジサイによる食中毒に関連した、自然毒による化学性食中毒について

(代謝生化学部)

- 手島玲子  
**Life Science (LF)市民公開講座 第56回「食の安全」**  
千里ライフサイエンス振興財団ニュース No.60  
平成22年2月27日に千里ライフサイエンスセンタービルで行われた市民公開講座の紹介記事で、手島が、3人の演者の1人として、遺伝子組換え食品と安全性について講演した内容が、他の2人の農薬と食の安全、輸入食品の安全性確保についての講演とともに紹介された。
- 手島玲子, 安達玲子  
**食品アレルギー対策と検査法作成に取り組む**  
月刊フードケミカル, 6月1日, 月刊  
アレルギー物質を含む食品の表示制度と検査法に関して、これまでの経緯及び現在の状況、今後の課題や展望等について解説した。

## 2. 誌上発表(原著論文)

(生物薬品部)

- 橋井則貴, 川崎ナナ, 正田卓司, 福原 潔, 品川麻衣\*1, 榛葉信久\*1, 河合健蔵\*2, 嶋村英雄\*2, 余田 光\*2, 奥田晴宏, 山口照英  
\*1 味の素株式会社ライフサイエンス研究所, \*2 扶桑薬品工業株式会社研究開発センター  
**ヘパリン純度試験に関する研究 (第5報) <sup>1</sup>H-NMRによるヘパリンナトリウム確認試験及び純度試験に関する研究**  
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, 41(6), 469-476 (2010)

(生薬部)

- 佐藤正幸\*, 姉帯正樹\*, 鎌倉浩之, 合田幸広  
\*北海道衛生研究所  
**生薬中に含まれる有機リン系農薬の漢方処方煎液への移行**  
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, 41(6), 458-468(2010)

(生活衛生化学部)

- 菅野文子\*, 富澤朋絵\*, 西以和貴\*, 岸智裕\*, 河上強志, 高橋保雄\*, 小野寺祐夫\*  
\*東京理科大学薬学研究科  
**身体保護製品の昆虫忌非剤(DEET)および鎮痒剤(Crotamiton)による水環境汚染:千葉県北西地域の河川水と水道水におけるそれらの存在、季節変動および濃度の比較**  
環境化学, 20(2),121-125 (2010)
- 中島晴信\*1, 富山健一\*2, 河上強志, 伊佐間和郎  
\*1大阪府立公衆衛生研究所, \*2静岡県立大学  
**家庭用品に含有されるトリブチルスズ、トリフェニルスズの分析法—公定分析法の改定に向けて—**  
薬学雑誌, 130, 945-954 (2010)

(食品部)

- 松田りえ子, 渡邊敬浩, 根本 了, 前田 守\*, 下山 晃\*, 青島 陽子\*  
\* 財団法人日本冷凍食品検査協会  
食品中の残留農薬分析結果の不確かさの推定 — 試験室内妥当性評価結果を用いて—  
食品衛生研究, 60(6), 25-31 (2010)

(食品衛生管理部)

- Iizuka, S.\*<sup>1</sup>, Oka, T.\*<sup>2</sup>, Tabara, K.\*<sup>1</sup>, Omura, T.\*<sup>1</sup>, Katayama, K.\*<sup>1</sup>, Takeda, N.\*<sup>1</sup>, Noda, M.  
\*<sup>1</sup>島根県保健環境科学研究所, \*<sup>2</sup>国立感染症研究所  
Detection of sapoviruses and noroviruses in an outbreak of gastroenteritis linked genetically to shellfish (遺伝学的に二枚貝が関連付けられた集団事例からのサポウイルス, ノロウイルスの検出)  
*J. Med. Virol.*, 82, 1247-1254(2010)

(衛生微生物部)

- 小沼ルミ\*<sup>1</sup>, 渡辺麻衣子, 工藤由起子, 小西良子, 瓦田研介\*<sup>1</sup>, 高鳥浩介\*<sup>2</sup>  
\*<sup>1</sup>地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター, \*<sup>2</sup>NPO法人カビ相談センター  
糸状菌の流動パラフィン重層法による長期保存後の生存性  
防菌防黴, 38(2), 75-80 (2010)

- Watanabe, M., Lee, K.\*<sup>1</sup>, Goto, K.\*<sup>2</sup>, Kumagai, S.\*<sup>1</sup>, Sugita-Konishi, Y., Hara-Kudo, Y.  
\*<sup>1</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科, \*<sup>2</sup>三井農林株式会社  
Rapid and effective DNA extraction method with bead grinding for a large amount of fungal DNA (真菌からの迅速および効率的なビーズ破碎を用いた大量DNA抽出方法)  
*Journal of Food Protection*. 73, 1077-1084 (2010)

- Miyahara, M., Taguchi, M.\*<sup>1</sup>, Kanki, M.\*<sup>1</sup>, Kai, A.\*<sup>2</sup>, Ishihara, T.\*<sup>3</sup>, Kimata, H.\*<sup>4</sup>, Gunji, A.\*<sup>5</sup>, Tsukamoto, T.\*<sup>6</sup>  
\*<sup>1</sup>大阪公衛研, \*<sup>2</sup>東京都健安研, \*<sup>3</sup>神奈川衛研, \*<sup>4</sup>神戸市保環研, \*<sup>5</sup>(財)日本食品分析センター, \*<sup>6</sup>東邦微生物病研究所  
A Collaborative Study on a Method to Detect *Salmonella* in Food (食品中のサルモネラ検出法のコラボ研究)  
*Biocontrol Science*, 15 (2), 69-73 (2010)

- Tanaka, H., Sugita-Konishi, Y., Takino, M.\*<sup>1</sup>, Tanaka, T.\*<sup>2</sup>, Toriba, A.\*<sup>3</sup>, Hayakawa, K.\*<sup>4</sup>  
\*<sup>1</sup>Agilent Technologies Japan, Limited \*<sup>2</sup>Kobe Institute of Health \*<sup>3</sup>Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University  
A Survey of the Occurrence of *Fusarium* Mycotoxins in Biscuits in Japan by Using LC/MS(LC/MSを用いての日本に流通するビスケット中のフサリウム属カビ毒実態調査)  
*Journal of Health Science*, 56(2),188-194 (2010)

(機能生化学部)

- Iguchi, Y.\*, Yamaguchi, M\*., Sato, H\*., Kihira, K\*., Nishimaki-Mogami, T., Une, M\*.  
\*広島国際大学  
Bile alcohols function as the ligands of membrane-type bile acid-activated G protein-coupled receptor (胆汁アルコールは胆汁酸G蛋白質共役型受容体のリガンドである)  
*J. Lipid Res.* 51, 1432-1441 (2010)

(代謝生化学部)

- 清木興介\*<sup>1</sup>, 織田浩司\*<sup>1</sup>, 柴原裕亮\*<sup>2</sup>, 蒲生玲子\*<sup>3</sup>, 有馬優美\*<sup>3</sup>, 酒井信

夫, 中村厚, 安達玲子, 塩見一雄\*4, 穂山浩, 手島玲子  
\*1株式会社マルハニチロホールディングス, \*2日水製薬株式会社, \*3株  
式会社ニッポンジーン, \*4東京海洋大学海洋科学部

加工食品中の甲殻類タンパク質定量検査法における標準品調製法の検討

食品衛生学雑誌, 51, 133-138 (2010)

- Sato, Y., Akiyama, H., Matsuoka, H., Sakata, K., Nakamura, R., Ishikawa, S.\*1, Inakuma, T.\*1, Totsuka, M.\*2, Sugita-Konishi, Y., Ebisawa, M.\*3, Teshima, R.

\*1 Research Institute, Kagome Co., LTD., \*2 Department of Applied Biological Chemistry, The University of Tokyo, \*3 Clinical Research Center for Allergology and Rheumatology, National Hospital Organization, Sagami National Hospital  
Dietary Carotenoids Inhibit Oral Sensitization and the Development of Food Allergy (カロテノイド摂取による経口感作と食物アレルギー発症の抑制)

*J. Agric. Food Chem.*, 58, 7180-7186 (2010)

- Oguchia, T.\*1, Onishi, M.\*2, Mano, J.\*1, Akiyama, H., Teshima, R., Futo, S.\*2, Frui, S.\*1, Kitta, K.\*1

\*1 National Food Research Institute, National Agriculture and Food Research Organization, \*2 Fasmac Co., Ltd.

Development of Multiplex PCR Method for Simultaneous Detection of Four Events of Genetically Modified Maize: DAS-59122-7, MIR604, MON863, and MON88017 (4系統遺伝子組換えトウモロコシDAS-59122-7, MIR604, MON863, MON88017のマルチプレックス定性PCRの検知法の開発)

*Food Hyg. Saf. Sci.* 51, 92-100 (2010)

- Nakajima, O., Koyano, S., Akiyama, H., Sawada, J., Teshima, R. Confirmation of a predicted lack of IgE binding to Cry3Bb1 from genetically modified (GM) crops. (GM作物に導入されているCry1Abタンパク質とIgE抗体の結合性の確認について)

*Regul. Toxicol. Pharmacol.*, 56, 306-311 (2010)

(毒性部)

- Tsuboi I, Harada T\*, Hirabayashi Y, Kanno J, Inoue T, Aizawa S\*.  
\*: Nippon University

Inflammatory biomarker, neopterin, predominantly enhances myelopoiesis, which suppresses erythropoiesis via activated stromal cells (炎症マーカーネオプテリンの顆粒球造血亢進と、間質を介した赤血球系造血の抑制作用)

*Immunobiology* 215(5),348-355 (2010)

- Oginuma, M. \*, Takahashi, Y., Kitajima, S., Kiso, M. \*, Kanno, J., Kimura, A. \*, Saga, Y. \*

\*国立遺伝学研究所

The oscillation of Notch activation, but not its boundary, is required for somite border formation and rostral-caudal patterning within a somite. (Notchシグナル活性の境界ではなく、その振動が体節の境界形成と前後パターン形成に必要な)

*Development* 137, 1515-1522 (2010)

(病理部)

- Takahashi, M., Yoshida, M., Inoue, K., Morikawa, T., Nishikawa, A.

Age-related susceptibility to induction of osteochondral and vascular lesions by semicarbazide hydrochloride in rats. (塩酸セミカルバジドによる骨・血管病変発生に対する年齢差)

### 3. 誌上発表(総説・解説等)

(機能生化学部)

- 佐井君江, 奥田晴宏  
抗がん剤の副作用予測と個別化医療への応用  
ファームステージ, 10(3), 1-3 (2010)

(薬理部)

- Kojima, H.  
Commentary to the Discussion on Topics 3, "In Vitro Test Approaches with Better Predictivity" at the 5th International Workshop on Genotoxicity Testing (IWGT)(第5回国際遺伝毒性試験ワークショップ トピックス3"予測性を高める*in vitro*試験への取り組み"討論へのコメント)  
*Genes and Environment*,32(2), 40-42(2010)

### 4. 単行本

(生物薬品部)

- 川崎ナナ, 石井明子, 山口照英  
第6編第8章 抗体医薬品開発における品質の確保について、大政健史監修 抗体医薬のための細胞構築と培養技術  
シーエムシー出版, 東京 (2010), pp. 290-297  
抗体医薬品の製造設計及び工程管理, 特性解析, 規格及び試験方法に関して, 関連するガイドラインや近年の品質管理の考え方を含めて概説した。

### 5. 学会・講演等

(副所長)

- 大野泰雄  
我が国の「マイクロドーズ臨床試験実施のガイドライン」の特徴と将来への期待  
日本学術会議シンポジウム(2010.6)(東京都港区)
- 住田佳代<sup>\*1</sup>、五十嵐芳暢<sup>\*2</sup>、鳥塚尚樹<sup>\*3</sup>、松下智哉<sup>\*4</sup>、阿部香織<sup>\*5</sup>、青木幹雄<sup>\*6</sup>、漆谷徹郎<sup>\*2,7</sup>、山田弘<sup>\*2</sup>、大野泰雄  
<sup>\*1</sup>住友化学株式会社 生物環境科学研究所 <sup>\*2</sup>(独)医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト(TGP2) <sup>\*3</sup>エーザイ株式会社 応用薬理・新技術部 <sup>\*4</sup>中外製薬株式会社 安全性研究部 <sup>\*5</sup>大塚製薬株式会社 徳島研究所 <sup>\*6</sup>大日本住友製薬株式会社 ゲノム科学研究所 <sup>\*7</sup>同志社女子大学 薬学部  
DMSOがヒト凍結肝細胞の遺伝子発現に与える影響  
第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)
- Abe-Tomizawa, K.<sup>\*1,\*2</sup>, Minowa, Y.<sup>\*1</sup>, Morishita, K.<sup>\*1,\*2</sup>, Yamada, H.<sup>\*1</sup>, Urushidani, T.<sup>\*1,\*3</sup> and Ohno, Y.  
<sup>\*1</sup>Toxicogenomics-Informatics Project, National Institute of Biomedical Innovation <sup>\*2</sup> Tokushima Research Institute, Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. <sup>\*3</sup>Doshisha Women's College of Liberal Arts  
Use of toxicogenomic profiling in single-dose studies for

predicting the type of liver weight increase.

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 神吉将之\*1、太田聖子\*2、南 圭一\*3、中津 則之\*2、五十嵐 芳暢\*2、堀之内 彰\*4、小野 敦、山田 弘\*2、漆谷徹郎\*5、大野泰雄  
\*1アステラス製薬株式会社 安全性研究所 分子毒性研究室, \*2独立行政法人 医薬基盤研究所 基盤的研究部, \*3小野薬品工業株式会社 研究本部 福井研究所 安全性研究部, \*4武田薬品工業株式会社 開発研究センター, \*5同志社女子大学 病態生理学研究室

**血漿中miRNAの網羅的解析による肝障害バイオマーカー創出の取り組み**  
第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 大村功\*1、松田喬\*2、木上大輔\*1、田村幸太郎\*1、神吉将之\*1、宇波明\*1、小堀正人\*2、渡部浩治\*1、山田弘\*3、漆谷徹郎\*4、大野泰雄  
アステラス製薬株式会社研究本部\*1安全性研究所, \*2分子医学研究所, \*3独立行政法人医薬基盤研究所 トキシコゲノミクスインフォマティクスプロジェクト, \*4同志社女子大学,

**ラットにおける肝細胞壊死に関連した遺伝子マーカー探索と判別モデル構築**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 鳥塚尚樹\*1、中津則之\*2、小野 敦、山田 弘\*2、漆谷徹郎\*2,\*4、大野泰雄  
\*1エーザイ株式会社 応用薬理・新技術部, \*2独立行政法人医薬基盤研究所トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, \*4同志社女子大学病態生理学研究室

**TGP大規模データベースにおけるラット肝の小胞体ストレス関連遺伝子の発現解析**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 半田千彰\*1、武藤 信一\*2、中津 則之\*3、赤羽 敏\*1、山田 弘\*3、大野 泰雄、漆谷 徹郎\*3,\*4

\*1キッセイ薬品工業株式会社 創薬研究部, \*2キッセイ薬品工業株式会社 開発研究部, \*3独立行政法人 医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, \*4同志社女子大学薬学部病態生理学教室

**ラットにおける薬剤誘発性肝線維化を予測する遺伝子マーカーの探索と評価(Estimation of genomic markers for chemically induced liver fibrosis in rats)**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 五十嵐芳暢\*1、清澤直樹 \*2、南 圭一\*3、神吉将之\*4、太田聖子\*1、堀之内 彰\*5、小野 敦、山田弘\*1、漆谷徹郎\*1,\*6、大野泰雄

\*1 独立行政法人 医薬基盤研究所 基盤的研究部, \*2第一三共株式会社 安全性研究所, \*3小野薬品工業株式会社 研究本部 福井研究所 安全性研究部, \*4アステラス製薬株式会社 安全性研究所 分子毒性研究室, \*5武田薬品工業株式会社 開発研究センター, \*6同志社女子大学 薬学部, **遺伝子発現情報を用いたメカニズムベースのグルタチオン枯渇評価系の構築**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 南 圭一\*1、五十嵐 芳暢\*2、神吉将之\*3、太田聖子\*2、堀之内 彰\*4、小野 敦、山田 弘\*2、漆谷徹郎\*5、大野泰雄

\*1小野薬品工業株式会社 研究本部 福井研究所 安全性研究部, \*2独立行政法人 医薬基盤研究所 基盤的研究部, \*3アステラス製薬株式会社 安全性研究所 分子毒性研究室, \*4武田薬品工業株式会社 開発研究センター, \*5同志社女子大学 病態生理学研究室

**クロスオミクスによるグルタチオン枯渇型肝障害バイオマーカーの探索**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 清澤直樹\*1、新野訓代\*1、渡辺恭子\*1、眞鍋淳\*2、三分一所厚司\*1、小野 敦、山田弘\*3、漆谷徹郎\*3,\*4、大野泰雄、矢本敬\*1

\*1第一三共株式会社 安全性研究所, \*2第一三共株式会社 プロジェクト推

進部, \*3独立行政法人 医薬基盤研究所 基盤的研究部, \*4同志社女子大学 薬学部

**トキシコゲノミクスデータベースを用いた遺伝子セットレベルのネットワーク解析**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 中津則之\*1, 神吉将之 \*2, 山田 弘\*1, 漆谷徹郎\*1, 大野泰雄  
\*1独立行政法人医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, \*2:アステラス製薬株式会社 研究本部 安全性研究所

**ラット血液における肝毒性由来遺伝子マーカー候補の探索**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 棚治隆史\*1, 奥山 学\*1, 田川義章\*1, 松本幸治\*2, 小野 敦, 山田 弘\*3, 漆谷徹郎\*3,\*4, 大野泰雄  
\*1(株)三和化学研究所 製薬研究所 安全性評価グループ, \*2(株)三和化学研究所 製薬研究所, \*3(独)医薬品基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, \*4同志社女子大学 薬学部 病態生理学

**TGPデータベースを利用した肝細胞壊死を伴わない血中ALT上昇バイオマーカーの探索**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 松下智哉\*1, 武藤裕紀\*2, 芦原基起\*2, 三島雅之\*1, 山田弘\*3, 漆谷徹郎\*4, 大野泰雄,  
\*1中外製薬(株) 安全性研究部, \*2中外製薬(株) 創薬資源研究部, \*3(独)医薬品基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト, \*4同志社女子大学 薬学部

**トキシコゲノミクスデータベースを用いた薬剤誘発性胆管増生バイオマーカーの探索**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 甲斐敏裕\*1, 弓立恭寛\*2, 青木幹雄\*1, 山田徹\*3, 山田弘\*4, 漆谷徹郎\*4,\*5, 大野泰雄, 木村徹\*1,  
\*1大日本住友製薬 ゲノム科学研究所 \*2大日本住友製薬 開発統括部 \*3大日本住友製薬安全性研究所 \*4(独)医薬品基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト(TGP2) \*5同志社女子大学 薬学部

**反応性代謝物生成に関連したバイオマーカーの探索**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 上田晴子\*1, 上原健城\*1, 箕輪洋介\*1, 中津則之\*1, 山田弘\*1, 大野泰雄, 漆谷徹郎\*1,\*2  
\*1(独)医薬品基盤研究所トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト \*2同志社女子大学薬学部病態生理学

**ラット腎臓における尿細管障害マーカー遺伝子の発現変動の局在に関する研究**

第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

- 大野泰雄  
**シンポジウム 代謝物の安全性評価とFDA及びICHの指針について**  
第37回日本トキシコロジー学会 (2010.6) (沖縄県・宜野湾市)

(薬品部)

- 小出達夫  
**顕微イメージング技術を用いた製剤開発および製造工程管理**  
第28回物性物理化学研究会(2010.6) 京都府京都市

(生物薬品部)

- 小林 哲, 鈴木琢雄, 石井明子, 川崎ナナ, 山口照英  
**各種マトリックスを用いたペプチドのMALDI-TOF MS解析におけるシグナル強度に対する塩基性アミノ酸残基の影響 Part II ーナトリウムイオンの影響ー**

第58回質量分析総合討論会(2010.6)(茨城県つくば市)

(生薬部)

- 袴塚高志, 高橋敏\*, 寺崎さち子\*, 横田洋一\*, 合田幸広  
\*富山県薬事研究所  
**西洋ハーブの有効性・安全性及び品質確保に関する研究 (8)**  
**イチヨウ葉製品の崩壊性について**  
日本食品化学学会 第16回総会・学術大会 (2010.6) (大阪府大阪市)
- 柿木康宏\*, 鴨脚毅\*, 袴塚高志, 合田幸広, 望月直樹\*  
\*アサヒビール株式会社  
**イチヨウ葉エキス中のフラボノイド類の網羅的分析**  
日本食品化学学会 第16回総会・学術大会 (2010.6) (大阪府大阪市)
- 鎌倉浩之, 最初和宏, 合田幸広  
**ED治療薬類似化合物のPDE6阻害活性について**  
日本食品化学学会 第16回総会・学術大会 (2010.6) (大阪府大阪市)

(遺伝子細胞医薬部)

- 佐藤陽治  
**再生医療・細胞治療製品の規制に関する国際動向**  
大阪大学第12回未来医療交流会／第5回未来医療市民公開シンポジウム  
(2010.6) (大阪府豊中市)
- 押澤正, 豊田淑江, 内田恵理子, 鈴木孝昌, 山口照英, 鈴木和博  
**カルシウム結合タンパク質S100A8によるHL-60細胞の増殖抑制**  
第11回Pharmaco-Hematologyシンポジウム (2010.6) (東京都渋谷区)

(医療機器部)

- 坂上 宏\*1, 薮島由二, 熊田秀文\*2, 浜田信城\*2  
\*1明海大, \*2神奈川歯科大  
**リグニン配糖体のシグナル伝達経路に及ぼすLPS汚染の問題**  
第19回内毒素・LPS研究会 (2010.6) (神奈川県横浜市)
- 植松美幸, 中野喜隆\*1, 許家群\*1, 坂本怜\*2, 梅津光生\*1,\*2, 青見茂之\*3,  
中村亮一\*4, 鈴木孝司\*5, 村垣善浩\*5, 伊関洋\*5  
\*1早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻, \*2早稲田大学理  
工学部機械工学科, \*3東京女子医科大学心臓血管外科, \*4千葉大学大学  
院工学研究科人工システム科学専攻, \*5東京女子医科大学先端生命医科学  
学研究所先端工学外科学分野  
**An anatomical landmark point-based registration using tissue  
thickness correction based on Bayesian estimation (ベイズ推定に  
基づく皮下組織厚補正を用いた体表上の解剖学的特徴点ベースのレジス  
トレーション)**  
日本生体医工学会大会 (2010.6) (大阪府大阪市)
- 坂本怜\*1, 植松美幸, 中野喜隆\*2, 許家群\*2, 梅津光生\*1,\*2, 飯村浩\*3, 青  
見茂之\*4, 中村亮一\*5, 鈴木孝司\*6, 村垣善浩\*6, 伊関洋\*6  
\*1早稲田大学理工学部機械工学科, \*2早稲田大学大学院先進理工学研究  
科生命理工学専攻, \*3東京女子医科大学病院画像診断部, \*4東京女子医  
科大学心臓血管外科, \*5千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専  
攻, \*6東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野  
**Error measurements for tissue thickness on an anatomical  
landmark point-based registration (解剖学的特徴点を用いたレジス  
トレーションにおける皮下組織厚に依存する誤差計測)**  
日本生体医工学会大会 (2010.6) (大阪府大阪市)

(生活衛生化学部)

- 西村哲治  
**わが国の医薬品環境リスク評価の考え方**  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6) (沖縄県宜野湾市)
- 山口敦美\*, 藤谷知子\*, 大橋則雄\*, 広瀬明彦, 西村哲治, 中江大\*, 小  
縣昭夫\*  
\* 東京都健康安全研究センター  
**多層カーボンナノチューブの投与による炎症・免疫系への影響**

- 第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)  
堀田沙耶花\*, 中田晴彦\*, 久保田領志, 西村哲治  
\*熊本大学  
**ヒト・動物用医薬品の分析法検討とその発生源に関する現況調査**  
第19回環境化学討論会(2010.6)(愛知県春日井市)
- 伊佐間和郎, 児玉幸夫, 吉田緑, 中嶋富士雄, 西川秋佳, 松岡厚子  
**家庭用品に用いられるコロイダルシリカ及び銀ナノ粒子の安全性評価**  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 河上強志・伊佐間和郎・中島晴信\*・土屋利江・松岡厚子  
\*大阪府立公衆衛生研究所  
**繊維製品中に含まれるアゾ染料由来の芳香族アミン類について**  
第19回環境化学討論会(2010.6)(愛知県春日井市)
- 河上強志, 伊佐間和郎, 中島晴信\*1, 大嶋智子\*2, 土屋利江, 松岡厚子  
\*1大阪府立公衆衛生研究所、\*2大阪市立環境科学研究所  
**家庭用品規制法における有機スズ化合物分析法改定への取り組み -水性塗料ならびに接着剤の分析**  
第19回環境化学討論会(2010.6)(愛知県春日井市)
- 河上強志, 伊佐間和郎, 松岡厚子  
**一般家庭用品中のフタル酸ジエステル類およびモノエステル類の実態調査**  
第19回環境化学討論会(2010.6)(愛知県春日井市)
- 五十嵐良明, 相場友里恵, 内野 正, 西村哲治  
**酸化チタンナノ粒子のラット皮膚透過性**  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 内野 正, 仲川清隆\*, 五十嵐良明, 西村哲治, 宮澤陽夫\*  
\*東北大学大学院  
**脂質の酸化修飾物がヒト皮膚細胞に与える影響**  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 神野透人, 古川容子, 大河原晋\*, 西村哲治, 香川(田中)聡子  
\*武蔵野大学  
**ハロアセトニトリル類によるヒト侵害刺激受容体TRPA1及びTRPV1の活性化**  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 香川(田中)聡子, 古川容子, 大河原晋\*, 西村哲治, 神野透人  
\*武蔵野大学  
**Microbial Volatile Organic Compoundsによるヒト侵害刺激受容体TRPA1及びTRPV1の活性化**  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- Tahara, M., Kubota, R., Shimizu, R., Sugimoto, N., Nishimura, T.  
**Risk Assessment of Fenthion Oxide Derivatives in Aqueous Environment (水環境中のfenthion酸化物のリスク評価)**  
(社)日本水環境学会主催Water and Environment Technology Conference 2010(WET2010)(2010.6)(Yokohama).
- Kubota, R., Tahara, M., Shimizu, K., Sugimoto, N., Nishimura, T.  
**Determination of EDTA in Water Samples by SPE-Gas Chromatography/Mass Spectrometry (SPE-GC/MSを用いた水試料中のEDTAの定量)**  
(社)日本水環境学会主催Water and Environment Technology Conference 2010(WET2010)(2010.6)(Yokohama).
- Shimizu, K., Sano, T.\*, Kubota, R., Tahara, M., Obama, T., Sugimoto, N., Takagi, H., Nishikawa, M.\*, Nishimura, T.  
\* National Institute of Environmental Studies  
**Cytotoxic Effects of Microcystin Variants in Primary Cultured Rat Hepatocytes (初代肝細胞におけるmicrocystin同族体の細胞毒性影**



響)

(社)日本水環境学会主催Water and Environment Technology Conference 2010(WET2010)(2010.6)(Yokohama).

- Nishimura, T., Suzuki, T.\*  
\*Tokyo Metropolitan Institute of Public Health  
Concentration of per-fluorinated compounds in river water in Tokyo(東京の河川水中の有機フッ素化合物の存在濃度)  
US.EPA's PFAA Days III symposium (2010.6) (Research Triangle Park,NC, USA)
- 杉本直樹  
qNMRを用いた有機化合物の絶対定量法の開発と実用化に関する研究  
日本食品化学学会第16回総会学術大会(2010.6) (大阪府大阪市)

(食品部)

- 堤 智昭, 天倉吉章\*1, 柳 俊彦\*2, 福沢栄太\*2, 河野洋一\*2, 中村宗知\*2, 野村孝一\*2, 豊田正武\*3, 米谷民雄\*4, 香山不二雄\*5, 中井里史\*6, 佐々木久美子, 渡邊敬浩, 松田りえ子  
\*1 松山大学, \*2日本食品分析センター, \*3 実践女子大学, \*4静岡県立大学, \*5自治医科大学, \*6横浜国立大学  
塩素化ダイオキシン類の魚介類汚染実態と摂取量～厚生労働科学研究による汚染実態調査のまとめ～  
第19回環境化学討論会 (2010.6)(愛知県 名古屋市)
- 安武大輔\*1, 芦塚由紀\*1, 中川礼子\*1, 新谷依子\*1, 堀 就英\*1, 堤 智昭  
\*1 福岡県保健環境研究所  
食品中の臭素化ダイオキシン類、臭素化ジフェニルエーテル及び臭素化ビフェニルの分析が可能なキャピラリーカラムの検討  
第19回環境化学討論会 (2010.6) (愛知県 名古屋市)
- 松田りえ子  
食品分析において統計学はどこまで適用できるか  
AOACインターナショナル日本セクション 2010シンポジウム 東京農工大学工学部 (東京) 2010.6
- 渡邊敬浩  
生化学分析法により得られる測定値の特性とそれに応じた統計解析手法の検討  
AOACインターナショナル日本セクション 2010シンポジウム 東京農工大学工学部 (東京) 2010.6
- 根本 了  
食品中の残留農薬の試験法について  
平成22年度食品安全行政講習会 厚生労働省 (東京) 2010.6
- 堤 智昭  
放射線照射された食品の検知法の改正について -アルキルシクロブタン法の実用-  
平成22年度食品安全行政講習会 厚生労働省 (東京) 2010.6
- 松田りえ子  
分析値の信頼性保証について  
国税庁研修「鑑定官(基礎)」 税務大学校(埼玉) 2010.6
- 渡邊敬浩  
分析(値)の信頼性と分析法の妥当性評価について  
平成22年度 食品衛生登録検査機関協会精度管理研修会 (東京) 2010.6

(食品添加物部)

- 平原嘉親, 山口未来, 六鹿元雄, 阿部 裕, 河村葉子  
ヘッドスペースGC/MSによるポリスチレン製容器入り即席食品に関わる揮発性物質の分析

- 日本食品化学学会 第16回総会・学術大会 (2010.6) (大阪府大阪市)  
六鹿元雄, 山口未来, 平原嘉親, 河村葉子  
**ポリウレタン製品中のアミン類の分析**  
日本食品化学学会 第16回総会・学術大会 (2010.6) (大阪府大阪市)
- 阿部 裕, 山口未来, 六鹿元雄, 平原嘉親, 河村葉子  
**ポリ塩化ビニル製玩具中の可塑剤調査**  
日本食品化学学会 第16回総会・学術大会 (2010.6) (大阪府大阪市)
- 河村葉子  
**おもちゃに係るフタル酸エステルの規格改正とその試験法**  
厚生労働省平成22年度食品安全行政講習会(東京都千代田区)(2010.6)
- 佐藤恭子  
**食品中の添加物分析法について: 既存試験法の改良・新規指定添加物に係る試験法の開発**  
厚生労働省平成22年度食品安全行政講習会(東京都千代田区)(2010.6)

(食品衛生管理部)

- Masuda, K. and Igimi, S.  
Observation of *Lactobacillus casei* IGM393 transport using *in vitro* M cell Model(試験管内M細胞モデルを用いた*Lactobacillus casei* IGM393株の取り込み)  
International Scientific Conference on Probiotics and Prebiotics - IPC2010 (プロバイオティクス・プレバイオティクスの国際科学会議)、(2010.6)(Kosice, Slovakia)
- 野田 衛  
**最近のウイルス検査の知見について**  
厚生労働省”二枚貝中のウイルス対策に関する意見交換会”(東京都港区)、(2010.6)

(有機化学部)

- 家田直弥\*, 中川秀彦\*, 堀之内妙子\*, 鈴木孝禎\*, 福原潔, 宮田直樹\*  
\*名市大院薬  
**光制御型hROS供与化合物の開発**  
第63回日本酸化ストレス学会学術集会(2010.6)(神奈川県横浜市)
- 堀之内妙子\*, 中川秀彦\*, 菱川和宏\*, 鈴木孝禎\*, 福原潔, 宮田直樹\*  
\*名市大院薬  
**オルガネラ局在型光作動性NODナーの開発**  
第63回日本酸化ストレス学会学術集会(2010.6)(神奈川県横浜市)
- 福原潔, 大野彰子, 矢本敬\*, 奥田晴宏  
\*第一三共  
**<sup>1</sup>H NMRを利用したAPAPによる肝障害のメタボロミクス**  
第63回日本酸化ストレス学会学術集会(2010.6)(神奈川県横浜市)
- 今井耕平\*<sup>1</sup>, 中西郁夫\*<sup>2</sup>, 安西和紀\*<sup>2,3</sup>, 小澤俊彦\*<sup>2,4</sup>, 宮田直樹\*<sup>5</sup>, 奥田晴宏, 中村朝夫\*<sup>1</sup>, 福原潔  
\*<sup>1</sup>芝浦工大院工, \*<sup>2</sup>放医研, \*<sup>3</sup>日本薬大, \*<sup>4</sup>横浜薬大, \*<sup>5</sup>名市大院薬  
**塩基性アミノ酸を有するカテキン誘導体の合成**  
第63回日本酸化ストレス学会学術集会(2010.6)(神奈川県横浜市)
- 菱川和宏\*<sup>1</sup>, 中川秀彦\*<sup>1</sup>, 堀之内妙子\*<sup>1</sup>, 古田寿昭\*<sup>2</sup>, 福原潔, 鈴木孝禎\*<sup>1</sup>, 宮田直樹\*<sup>1</sup>  
\*<sup>1</sup>名市大院薬, \*<sup>2</sup>東邦大理  
**二光子励起でNOを放出する化合物の細胞系への応用**  
第63回日本酸化ストレス学会学術集会(2010.6)(神奈川県横浜市)
- 中西郁夫\*<sup>1</sup>, 稲見圭子\*<sup>1,2</sup>, 大久保敬\*<sup>3</sup>, 川島知憲\*<sup>1</sup>, 松本謙一郎\*<sup>1</sup>, 福原潔, 奥田晴宏, 望月正隆\*<sup>2</sup>, 伊古田暢夫\*<sup>4</sup>, 福住俊一\*<sup>3</sup>, 小澤俊彦\*<sup>1,5</sup>, 安西和紀\*<sup>1,6</sup>  
\*<sup>1</sup>放医研, \*<sup>2</sup>東理大薬, \*<sup>3</sup>阪大院工, \*<sup>4</sup>就実大薬, \*<sup>5</sup>横浜薬大, \*<sup>6</sup>日本薬大

**密度汎関数計算に基づく新規ビタミンE誘導体の分子設計とラジカル消去活性評価**

第63回日本酸化ストレス学会学術集会(2010.6)(神奈川県横浜市)

- 栗原正明

**ノンセコ型VDRリガンドの創製**

第6回VD3(ビタミンD3)研究会(2010.6)(東京都昭島市)

(機能生化学部)

- 伊藤幸裕\*, 石川 稔\*, 内藤幹彦, 橋本祐一\*

\*東京大学分子細胞生物学研究所

**細胞内レチノイド結合タンパク質の分解を誘導するレチノイン酸連結化合物の創製**

日本ビタミン学会第62回大会,(2010.6)(岩手県盛岡市)

- 奥平桂一郎, 大岡伸通, 内藤幹彦, 最上(西巻)知子

PDZ-RhoGEF binds ABCA1 and increases transporter expression and cholesterol efflux via RhoA activation

Naito Foundation:The 27th Naito Conference (2010,6)(北海道札幌市)

(代謝生化学部)

- 中村 厚, 酒井信夫, 川浦知子\*, 安達玲子, 穂山 浩, 手島玲子

\* (財) 食品分析開発センターSUNATEC

**魚肉すり身およびその加工食品に含まれる甲殻類の実態調査**

日本食品化学学会第16回学術大会 (2010・6)(大阪府大阪市)

- 山田千尋、中村公亮、穂山浩、高畠令王奈\*1、北川麻美子\*2、橋田和美、川上浩\*3、手島玲子

\*1.(独)農研機構 食品総合研究所、\*2.カゴメ総合研究所、\*3.共立女子大学大学院、

**トマト含有加工食品中の未承認遺伝子組換えトマトの検知法の確立に向けて**

日本食品化学学会第16回学術大会 (2010・6)(大阪府大阪市)

- 高畠令王奈\*1, 大西真理\*2, 小岩智宏\*3, 布藤聡\*2, 峯岸恭孝\*4, 穂山浩, 手島玲子, 古井聡\*1, 橋田和美\*1

\*1(独)農研機構 食品総合研究所, \*2株式会社ファスマック, \*3(独)農林水産消費安全技術センター, \*4株式会社ニッポンジーン,

**遺伝子組換え(GM)ダイズ新系統MON89788の系統特異的定量検知法開発および妥当性の確認**

日本食品化学学会第16回学術大会 (2010・6)(大阪府大阪市)

- 張替直輝\*1、吉田雄三\*1、橋田和美\*2、近藤一成、穂山浩、手島玲子

\*1武庫川女子大学薬学部、\*2(独)農研機構 食品総合研究所

**プライマー伸長反応を使用した遺伝子組換え大豆の発色定量法**

日本食品化学学会第16回学術大会 (2010・6)(大阪府大阪市)

- 伊東篤志\*1、田口朋之\*2、和気仁志\*2、穂山浩、手島玲子、佐々木伸大\*1、山田晃世\*1、小関良宏

\*1東京農工大・院、\*2横河電機(株)

**DNAチップを用いた遺伝子組換え食品の遺伝子非増幅検出法の検討**

日本食品化学学会第16回学術大会 (2010・6)(大阪府大阪市)

- 中村里香, 佐藤里絵, 中村亮介, 手島玲子

**2D-DIGE法による玄米10品種のプロテオーム解析**

日本食品化学学会第16回学術大会 (2010・6)(大阪府大阪市)

- Nakamura, R., Uchida, Y., Higuchi, M., Nakamura, R., Teshima, R.

IgE crosslinking-induced luciferase expression (EXILE) as a sensitive indicator for serum-based allergy test (IgE架橋依存的ルシフェラーゼ発現(EXILE)による高感度血清ベースアレルギー試験)

29th Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology (2010.6)(London,UK)

- 安達玲子  
アレルギー物質を含む食品の検査法について  
生物化学的測定研究会第15回学術集会  
東京都千代田区(2010・6)
- (安全情報部)
- 畷山智香子  
食品中化学物質のリスクについて  
日本アミノ酸学会第2回産学連携シンポジウム (2010.6) (東京都千代田区)
- 畷山智香子  
トランス脂肪酸の健康影響等について  
NPO法人食科協平成22年度会員研修講演会(2010.6) (東京都千代田区)
- (毒性部)
- 北嶋 聡、高橋 祐次、五十嵐 勝秀、相崎 健一、菅野 純  
Percellome 発生トキシコゲノミクスの進捗  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 鈴木 睦<sup>1)</sup>、高橋 祐次、児玉 晃孝<sup>2)</sup>、堀井 郁夫<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>協和醗酵キリン(株)、<sup>2)</sup>味の素製菓(株)、<sup>3)</sup>ファイザー(株)、昭和大学  
毒性質問箱2010 毒性試験報告書の常套句検証、常識はどこから来るのか…  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 井上 達、平林容子、壺井 功、五十嵐勝秀、関田清司、菅野 純、吉田和子\*  
\*：放射線医学総合研究所  
加齢に特徴的な2種の発現遺伝子プロファイリング：Common aging profileとstochastic aging profile.  
第99回日本病理学会総会(2010.4.29) (東京)
- 平林容子、尹 秉一、李 光勲、藤井義明\*、菅野 純、井上 達  
\*東京大学  
造血細胞特異的な芳香族炭化水素受容体(AhR)を介したベンゼン誘発造血障害発現機構。  
第99回日本病理学会総会(2010.4.29) (東京)
- 平林 容子、李 光勲、淀井 淳司<sup>\*1</sup>、五十嵐 勝秀、関田 清司、黒川 雄二<sup>\*2</sup>、菅野 純、井上 達  
<sup>\*1</sup>京都大学、<sup>\*2</sup>佐々木研究所  
ベンゼンによる造血毒性と、スルフォラファンによる消去の背景機構。  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 井上 達、尹 秉一、関田 清司、菅野 純、藤井 義明\*、平林 容子  
\*東京大学  
ベンゼンの造血障害に対する多環芳香族炭化水素受容体の関与と骨髄特異的異物代謝 続報  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- 菅野 純  
インフォマティクス局面にあるPercellome トキシコゲノミクスの食品・食品添加物への適用  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- (薬理部)
- 小島 肇  
パネルディスカッション 新しい感作性および局所刺激性(皮膚・眼)試験法のOECDテストガイドライン  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- (病理部)
- 武田賢和、吉田 緑、井上 薫、高橋美和、坂本洋平、渡辺 元<sup>\*1</sup>、田谷一

善\*1, 山手丈至\*2, 西川秋佳

\*1東京農工大学大学院 共生科学技術研究院 獣医生理学教室

\*2大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医病理学教室

**ラット黄体に病理学的変化をもたらす化学物質の卵巣毒性解析**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 吉田 緑, 河部真弓\*, 古川文夫\*, 井上 薫, 高橋美和, 広瀬明彦, 西川秋佳

\*株DIMS医科学研究所

**酸化チタン曝露ラットの肺の経時的変化とチタンの局在**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 曹 永晩, 今井俊夫\*, 高見成昭, 豊田武士, 小川久美子, 西川秋佳

\*独立行政法人国立がん研究センター 実験動物管理室

**F344ラットにおけるセイヨウワサビ飲水投与による膀胱発がん修飾作用の検討**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 坂本洋平, 吉田 緑, 井上 薫, 高橋美和, 武田賢和, 小澤正吾\*1, 根岸正彦\*2, 西川秋佳

\*1岩手医科大学 薬学部 薬物代謝動態学 \*2 Lab.Reprod.Dev.Tox.,

NIHES/NIH

**マウスでの化学物質誘発性肝肥大におけるConstitutive Androstane Receptorの役割**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 鈴木裕太, 木島綾希, 日比大介, 金 美蘭, 石井雄二, 児玉幸夫, 能美健彦, 梅村隆志, 西川秋佳

**Gpt deltaマウスを用いた食品添加物estragoleのin vivo変異原性の解析**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 日比大介, 木島綾希, 鈴木裕太, 金 美蘭, 石井雄二, 増井則夫\*, 能美健彦, 小西良子, 梅村隆志, 西川秋佳

\*日本エスエルシー(株)

**gpt deltaラットを用いたオクラトキシンAのin vivo変異原性の解析**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 木島綾希, 鈴木裕太, 田崎雅子, 井上知紀, 岡村俊也, 石井雄二, 梅村隆志, 西川秋佳

**シコン色素を90日間反復投与したラット腎における酸化ストレス関与の検討**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 伊佐間和郎, 児玉幸夫, 吉田 緑, 中嶋富士雄, 西川秋佳, 松岡厚子

**家庭用品に用いられるコロイダルシリカ及び銀ナノ粒子の安全性評価**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 三枝由紀恵\*1,2, 富士本仁, 禹 桂炯, 剣持 明\*1,2, 嶋本敬介\*1,2, 広瀬雅雄\*3, 西川秋佳, 三森国敏\*1, 渋谷 淳\*1

\*1東京農工大学 獣医病理学研究室 \*2岐阜大学大学院 連合獣医学研究科 病態獣医学講座 \*3内閣府 食品安全委員会

**発達期神経毒暴露に起因するニューロン分布異常に対する影響評価系の確立—小脳片葉小節葉の顆粒細胞層におけるReelin陽性細胞の検討—**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 石川典子\*1, 平田真理子\*1, 須永昌男\*1, 中山拓生\*1, 木口雅夫\*1, 松浦正男\*1, 今井俊夫\*2, 小川久美子, 西川秋佳

\*1(株)化合物安全性研究所 \*2独立行政法人国立がん研究センター

**ラット血清中アルミニウムの濃度測定**

第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

- 河本光祐\*, 佐藤 至\*, 吉田 緑, 津田修治\*

\*岩手大学農学部

**空気清浄機による肺のDNA損傷**

- 第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)
- (変異遺伝部)
- 能美健彦  
遺伝毒性の基礎  
第11回日本トキシコロジー学会生涯教育講演会 (2010.6) (沖縄県宜野湾市)
  - 本間 正充  
遺伝毒性試験とその科学的リレバンス  
第11回日本トキシコロジー学会生涯教育講演会 (2010.6) (沖縄県宜野湾市)
  - 本間 正充  
リスク評価におけるin vitro遺伝毒性試験の役割  
第37回日本トキシコロジー学会学術年会(2010.6)(沖縄県宜野湾市)

## 6. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

- (薬品部)
- 檜山行雄  
Q8,Q9, Q10 実践・導入作業部会(Q-IWG)による教育研修会  
タリン、エストニア(2010.6)  
欧州各国から行政関係者100名を含む240名が参加し開催された。開発、審査、製造、GMP査察に関する全体講演に続き、2日目はデザインスペース、管理戦略、品質システムおよびリスクマネジメントの4つのテーマによる分科会を行った。80%以上の参加者からの好意的なフィードバックを受けた。
  - 檜山行雄  
ICH専門家 Q8,Q9, Q10 実践・導入作業部会(Q-IWG)  
タリン、エストニア(2010.6)  
本会議前に行われたQ-IWG主催の教育研修会のレビューを行い教育資料の修正・編集を行い、ワシントン、東京における研修会の実行計画を見直した。また、Q-IWGのし将来についても協議した。
- (医療機器部)
- 松岡厚子, 中岡竜介  
ISO/TC 194/SC 1 "Tissue Product Safety" Meeting (国際標準化機構／技術委員会194／分科委員会1「組織由来製品の安全性」会議)  
ベルン(スイス), 2010年6月7日～9日  
ベルンで行われたISO/TC 194/SC 1会議に出席し、再生医療機器等に使用するヒト細胞のリスクマネジメントに関する文書作成に参加した。当該文書が国内規制や国内産業の現状と齟齬、乖離を生じないように文書内容を吟味・討議するとともに、再生医療に関して国際的に共通する課題、問題点等の情報を収集した。
- (食品添加物部)
- 河村葉子, 梅村隆志  
第73回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議(JECFA)  
ジュネーブ(スイス), 2010年6月8日～17日  
12グループ179品目の香料物質の安全性評価、並びにカドミウムおよび鉛のリスク評価を行った。また、8品目の食品添加物と181品目の香料物質の規格について新規作成または見直しを行った。
- (有機化学部)
- 奥田晴宏  
ICH Q11 Exper Working Group Meeting / ICHQ11専門家会合  
タリン市(エストニア)、2010年6月13日～6月17日  
日米EU医薬品規制調和国際会議(ICH) の品質ガイドラインQ11「原薬の

開発と製造」の作成のための議論を行った。本ガイドラインは化学薬品および生物薬品の品質をライフサイクルを通して保証することを目的としている。今回は、ドラフト3aの改訂作業を実施した。

(毒性部)

- 平林容子  
日米EU医薬品規制調和国際会議(運営委員会/専門家会議)  
タリン(エストニア), 2010年6月6日～10日  
当該会議のうち, 生殖発生毒性の代替試験法に関するブレインストーミング会議に参加した。また, バイオ医薬品に関する部会にMHLWのトピックリーダーとして出席し, 既存ガイドラインの明確化を目的として前回会議でとりまとめた補遺文書案の修正作業を進めた。本会期中での完成を目指していたが, 修正作業量が多く, 持ち越しとなった。

(薬理部)

- 小島 肇  
Accelerating the transition to a toxicity pathway-based paradigm for chemical safety assessment through internationally co-ordinated research and technology development workshop (国際協力による研究および技術開発を通して, 化学物質の安全性評価のための毒性経路を基本とした枠組みの変遷を加速するワークショップ)  
ポツダム, ドイツ, 2010年5月31日～6月2日  
欧州における動物実験代替法の研究支援の一環として, 支援を受けているプログラムの年次報告会(ワークショップ)が開催された。本会にて, 3R-Activities in Japan(日本における3R活動)について報告した。
- 小島 肇  
**IN VITRO MODELS FOR REPRODUCTIVE TOXICITY TESTING WORKSHOP** (生殖毒性試験のためのin vitroモデルワークショップ)  
タリン, エストニア, 2010年6月6日  
ICH: International Conference on Harmonisation of Technical Requirements for Registration of Pharmaceuticals for Human Use (日米EU医薬品規制調和国際会議)の議題の一つとして, 生殖毒性試験のためのin vitroモデルワークショップが開催された。

(病理部)

- 梅村隆志  
73rd Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (第73回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議 (JECFA))  
ジュネーブ(スイス), 2010年6月8日～17日  
6月8～17日, ジュネーブで開催された第73回JECFAに出席し, 食品添加物(香料)ならびに汚染物質の安全性評価を行った。

(総合評価室)

- 広瀬 明彦  
日米EU医薬品規制調和国際会議(Q3D)  
エストニア(タリン), 2010年, 6月6日～6月10日  
日米EU医薬品規制調和国際会議 Q3D(金属不純物)における医薬品の金属不純物についてのガイドラインの作成に関する会合において, 最初の専門家会合が行われ, ガイドラインの範囲と対象金属, ガイドライン文書の骨格案等について議論された。
- 広瀬 明彦  
European Food Safety Authority (欧州食品安全機関)のナノテクノロジーに関する科学委員会, 第7回ワーキンググループ会合  
ベルギー(ブリュッセル), 2010年6月10日～6月11日  
欧州食品安全機関のナノテクノロジーに関する科学委員会ワーキンググループ(第7回:ブリュッセル)において, ナノテクノロジーを使った食品や食品関連製品の安全性評価のためのガイダンス案に関して討議が行われた。

○ 広瀬 明彦

OECD第三回有害性評価タスクフォース会議

フランス(パリOECD本部)、2010年6月29日～6月30日

2010年以降のOECDにおける高生産量化学物質プログラムにおいて、その導入を検討してきている加盟各国独自の評価文書、および影響指標を限定した選択的評価文書の利用に関する事例や、QSARやカテゴリアプローチの積極的な導入等に関する議論が行われ、概ね肯定的な評価であることが同意された。